

今日はエコアクション21認証・取得説明会をご案内しましたところ、県内各地から組合員の方々に参加頂いた事に御礼申し上げます。今年は研修説明会に4社の申し込みがありました。今日の説明会から認証取得へと向かっていくようお願いいたします。全国建設業協同組合連合会は、組合としてのスケールメリットを生かした共同事業を展開していますが、業界の変化をとらえた取り組みも積極的に行っています。昨年度は、2024年以降を見据えた新たな働き方、「勤務間インターバルの確保」や「男性育休取得率向上」など、業界内から提言することが出来ました。

事業協同組合と建設業協会の団体活動の差は要約すると「直接事業に参加できるのが組合であり、会員のために政策提言活動を展開するのが建設業協会である」と区分けして考えると分かりやすくなります。この辺をしっかりと認識しながら組合としての活動をすることです。そして事業を展開する中で培われてきた経営資源を組合員並びに建設業協会員に還元していくことが出来れば、それこそ「建設業協会と一体となった活動を展開する事業協同組合としての価値」が高まるものだと思っています。

こういった組合事業としての大きな柱のひとつとしてエコアクション21の研修会を計画して今年で14年目になります。環境への取り組み姿勢は企業にとって強く求められておりますが、常に継続的な取り組み、成果を挙げる事が大切です。またこういった活動に取り組むことによって、しっかりとした組織としての目標管理の効果も挙がってくると思われまます。群馬県建設事業協同組合自体も認証取得し、実際に運用しているところであります。

全国建設業協同組合連合会が主体となってエコアクション21の研修会が開催され、認証企業の数も全国規模で一定数の規模になりました。琵琶湖を取り巻く滋賀県などを中心に業界では取り組みが始まりましたが、最近では群馬での取り組み企業数が多くなってきております。エコアクション21の研修会、参加された組合員の企業にとって組織の活性化のツールとなって有益な成果をもたらすことを祈念して挨拶に変えます。

令和6年7月10日

全国建設業協同組合連合会 会長
群馬県建設事業協同組合 理事長
青柳 剛